

豊肥本線三里木～原水駅間の新駅設置

12月18日、九州旅客鉄道株式会社（JR九州）と新駅設置に係る覚書を締結しました。

役場で行った締結式では、県の田嶋徹副知事立ち会いのもと、吉本町長とJR九州の中野幹子熊本支社長が出席し、覚書を締結しました。

町は、令和4年2月に新駅設置を要望して以降、JR九州と協議を重ねてきました。今回の覚書締結により、令和9年春の開業を目指し準備を進めていきます。

新駅設置は、今後の町の開発の第一歩です。新駅を拠点に、駅を中心とした市街地整備を進めていきます。



覚書を持つ吉本町長
中野支社長(右)
田嶋副知事(左)



菊陽杉並木公園の拡張整備



誰もが住みやすい豊かなまちづくりに向けた憩いの場や、新たな観光・にぎわいの拠点として、菊陽杉並木公園を拡張し、スケートボードなどができる「アーバンスポーツ施設」と「町民グラウンド」を整備することを計画しています。

今後、基本設計、詳細設計・工事を経て、令和8年度の各施設のオープンを目指し準備を進めていきます。

また、アーバンスポーツの機運醸成や大会誘致などは、県と連携して進めていく予定です。

Point 1

メインは明るいオレンジ色

背景は町特産のにんじんをイメージしたオレンジ色を使用しました。

Point 2

町の特徴を写真で表現

農産物や商業、工業などの写真を配置し、農商工のバランスが取れた発展を表現しました。



Point 3

上向きにぐんぐん成長中。

それぞれの写真を上向きの矢印の形に切り抜き、「成長しつづける」との思いを込めています。

菊陽町PRポスターを作成！
町のPRポスターを作成し、庁舎や公共施設、阿蘇くまもと空港などに掲示していきますので、ぜひご覧ください。



新しいスタイルの未来づくりが始まっています。

菊陽町



未来を見据えたまちづくりを進めています

町では、半導体企業の立地などを踏まえ、今後の経済発展や人口増加に対応するため、JR豊肥本線三里木～原水駅間に新駅を設置するとともに、町民の憩いの場や新たな観光・にぎわいの拠点として、菊陽杉並木公園の拡張整備を計画しています。

さらに、新駅～原水駅間において「(仮称)原水駅周辺土地区画整理事業」を実施し、駅を中心とした市街地整備を進めていく予定です。

半導体企業の立地を受け、町として、道路整備などの交通渋滞対策、環境保全や排水対策、多文化共生などに確実に対応しながら、町民の皆さまにとって住みやすい豊かなまちづくりを進めていきます。

また、「成長しつづける町。」をスローガンに掲げ、町の特徴である農業・商業・工業のバランスの取れた発展を目指していきます。



総務課 02322112

